

平成23年度 個別施策管理シート

個別施策08

政策	1 グローバルロジスティクスの港	施策推進 責任者	企画調整室長
基本施策	01 国際・国内海上輸送機能の強化		
個別施策	08 伊勢湾内連携を強化する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船社、港運、物流企業、荷主					
	サービスの対象物(何を)	名古屋港及び四日市港のコンテナ機能等					
	意図(どういう状態にしたいのか)	多様なニーズに柔軟に対応できる					
内容	中部地域の製造業の集積と伊勢湾(名古屋港及び四日市港)の港湾機能の総合力を活かし、一港化を視野に入れて両港が連携を行い、我が国の経済と産業の成長を牽引する「国際産業ハブ港」を実現していきます。						
目標	伊勢湾(名古屋港及び四日市港)が連携し、国際産業ハブ港の実現を目指します。						目標達成に影響する外的要因等 世界の景気動向による 貨物量減少
成果指標	年度	H19	H20	H21	H22	目標 H24	指標の説明(式)
伊勢湾連携にかかる具体的 施策の提案	実績 件				0	1	
	達成率 %				0.0		
	実績						
	達成率						

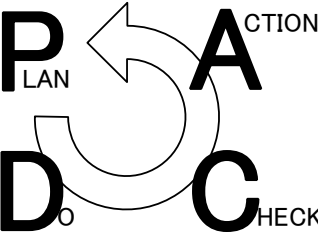
2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課	事務事業名 (コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)			目標値 (年度)	H22年度事業に基づく評価結果(及びH23年度評価時点までの状況変化も反映)				
					H21	H22	H23		H22年度 末までの 状況 ※1	H23年度以降の取組の方向性			備考(判断の理由・目標年次の変更等)
					実績 決算額	実績 決算見込額	目標 予算額			事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4	
	(企画調整室) 企画担当	伊勢湾スーパー中核港湾 連携施策の推進 (1010801)	国、四日市港管理組合、中部国際空港㈱及び本組合等で構成する伊勢湾 スーパー中核港湾連携推進協議会の運営を事務局の一員として行います。	連携施策の実施件 数(件)	1	1		1 (H22)	完了				
	(企画調整室) 企画担当	伊勢湾連携にかかる具体 的施策の推進(1010802)	国、四日市港管理組合及び本組合等で構成する、伊勢湾連携協議会及び それぞれの施策ごとの部会を開催し、伊勢湾連携にかかる具体的施策の提 案をします。	具体的施策の提案 (件)		0	1	3 (H25)		継続	↗	➡	実現可能な具体的施策を取りまとめる必要があるため。
				施策コスト (事業費合計)	6,007	2,120	4,822						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

H23年度以降の取組の方向性		平成23年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)	
取組の 方向性	成果※3	コスト※4	<ul style="list-style-type: none"> 成果は拡大としますが、厳しい財政状況を踏まえ、維持とします。
	↗	➡	
今後の展開方向(新規事業の創出、事務事業の見直し等)			
 <ul style="list-style-type: none"> 伊勢湾内の連携強化のため、具体的連携施策について、可能なものから取り組み、成果を拡大していきます。 			

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

平成22年度行政評価のACTION(取組の方向性)を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 今までの組織・体制を見直して設立された伊勢湾連携協議会及び部会において、推進すべき連携施策の検討を行っています。 連携施策には時間を要するものもあるが、関係者と調整を行い施策を実現していく必要があります。 	
構成事務事業の適正性(事務事業の構成内容が妥当かどうか。問題がある場合は具体的な修正案を記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の構成内容は概ね適正です。 	